



令和元年 7 月 5 日 (金)
(2019年)

No. 14965 1部370円(税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿支部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆平成30年度特許出願技術動向調査 [3]

ー樹脂素材と異種素材との接合技術ー…… (1)

☆フラッシュ (特許庁人事異動) …………… (15)

平成30年度特許出願技術動向調査 [3]

ー樹脂素材と異種素材との接合技術ー

特許庁審査第三部審査調査室

特許庁総務部企画調査課

はじめに

本稿は、平成30年度に実施した特許出願技術動向調査のうち、樹脂素材と異種素材との接合技術について紹介します。

自動車産業等において、樹脂素材 (FRP等) を含む様々な材料の接合部品を用いた軽量化等が進められており、樹脂素材と異種素材との接合についての技術開発に対する社会的注目が高まっています。

本稿では、樹脂素材と異種素材との接合技術について、技術概要、市場動向、政策動向、特許出願動向、研究開発動向等の調査結果を説明し、今後の研究開発の方向性を提言として示します。

1. 技術概要

2012年の世界のエネルギー起源CO₂排出量は317億トンに上り、世界のエネルギー起源CO₂排出量は

TH弁護士法人は、アクセス容易な新宿にオフィスを構える弁護士事務所です。

TH弁護士法人の集中分野の一つである知的財産法務を担当する弁護士・弁理士高橋淳は特許侵害訴訟を中心として活動してきましたが、近時は、職務発明規定の作成、変更に関するコンサルタント業務に注力しており、多数の書籍、論文の執筆、セミナー、講演、テレビ出演などを通じて職務発明規定変更の実務の第一人者として知られており、多数の相談実績を有しています。

また、平成27年から参加費無料の高橋知財勉強会 (原則月1回18時から20時まで。懇親会あり) を主催しており、随時ニュースレターを発行しております。

高橋知財勉強会への参加、ニュースレターの受領等を希望される方は、下記までご連絡下さい。



TH弁護士法人

〒163-0631 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル31階

TEL 03-6911-2500

E-mail jun14dai@gmail.com

1990年から2012年の間に年平均1.9%のペースで増加し続け、2012年は1990年比で51.3%増となっています。地球温暖化の抑制のために、CO₂排出量の24%を占める自動車等から排出されるCO₂を低減することが要請されています。こうした中、次世代の車両や航空機等の構造材料の軽量化を目的に、鋼の高張力化や軽金属への代替、さらには樹脂化等の材料転換が世界中で検討されています。しかし、軽量化と耐久性を単一材料で満足させることは非常に困難で

す。そこで、樹脂素材と異種素材を組み合わせたマルチマテリアル化に向けた取組が活発に行われており、樹脂素材と異種素材との接合技術が注目されています。

図1に樹脂素材と異種素材との接合技術における技術俯瞰図を示します。本調査における主要な対象技術分野は、加熱による接合、接着剤を用いる接合、機械的手段を用いる接合です。

図1 技術俯瞰図



本調査の対象範囲は、三重線の範囲内です。